
「タンポリン」

たかぴょん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「タンポリン」

【コード】

N3692G

【作者名】

たかぴょん

【あらすじ】

面白い作品なので読んでください

ちよつど病院を訪れるときの神妙な感じがする。消毒剤の匂いが、人間の寿命を明確に著す。訪問販売をするのにも、玄関先の模様は多種多様である。

わたしはいわゆる歩合給の飛び込みセールスマンをしている。最近わたしは高歩合の新薬開発会社へ転職し、日夜汗を流している。ところが今月の給料日には参った。十万円も振り込まれていなかった。女性に変身出来るという一時麻酔的效能を生じる目薬「タンポリン」が思うように体内へ浸透する前に、怪しがつてキャンセルされてしまったかららしい。完全歩合制だから文句も言えない。徐々に手に付いてきたのは事実なので、来月の因果応報を願うばかりである。

交通費はかからない。地元の新規単身マンションを自転車で廻っているからだ。この文章を読んでいるあなたの家では、誰かがチャイムを鳴らす。二度目なので何か重要な用件だと思い、あなたは悪い腰を上げ扉を開けた。わたしはあなたの立場に立ち、良い点と悪い点を並べ、吟味した発展的な話をする。待ってたとばかりに判を押すものもある。あえて検討で受け流す賢いお客さん、もちろん門前払いもある。女性だったならば、父親に勧めさせる。さてあなたならばどうしましょう。わたしはあえて信用を得るために「ただ一滴を三十センチメートル上にかざし、瞳目掛けて……、ですがどうぞゆっくりと考えてから」と、逆手に取って信用を得る。わたしはそんなやり方だ。

今日一件取りたい。さもないと全労働者の最大級の屈辱である

「ただ働き」だ。それこそ、厄介な魔法に掛かってしまう。しかしわたしはお客さん本位で、押したりはしない。信頼という土台をきつちりと作ってから、着実に伸ばして行く。それが成功への道だと結果さえ出ていないながらも信じている。あとは競合業者よりも早く廻り、剥ぎ取られないように心掛けた。

信用が第一だ。何事も癖を直し、真つ直ぐに芽を伸ばすのが必死だ。どんな職業でも、まず人間性が第一。和洋折衷の料理人、物書き、スポーツ選手、裁判官。ここで自慢話であるが、わたしは人を幸せにするセールスを心掛けている。だから今月の給料が高校生アルバイトぐらいでも、肩をあらがせたりはしない。お客さんを煙に巻いて契約させたとしても、根に付いた幸せは両サイドともに訪れはない。女性に真正銘の女性の実態が分かるはずはなし。男性が一時的に女性へ変わった方が良い。灯台もと暗しというよりも、「女性」を象徴的に捉える一種の民族思想があるからだ。

タンポリンがたった一つ教えてくれるものがある。

われらの時代、争いは日常茶飯事だ。だから自分自身をアピールするのには、まず相手の立場を汲み、弁明してから、わたしたちの立場を折り込まなければならぬ。

一時期女性に化けられるというのは、男性たちはまず女性の立場に立って生活を行かなくてはならないということであった。そのキーンセンスを自覚させてくれるのが、タンポリンという特效薬なのである。

そのとき特效薬から消毒剤のような匂いがした。わたしは、そのことも知らずに売り歩いていたことに頬を赤らめた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3692g/>

「タンポリン」

2010年10月21日20時22分発行